

マザー・テレサ 真鍋 和子
めあて

(五の場面)

テレサが「死を待つ人の家」を作ったのはなぜか考えよう。

貧しい人々の様子

- ・ やせこけた老婆(ろくば)
- ・ たおれたまま動こうとしない。
- ・ 針金のようなうで
- ・ 死にかかっている貧しい人

やせ細っている。
骨と皮だけ。
動きたくても動けない。
命が消えかかっている。
だれも助けない。

テレサの考え

- ・ 命ある人を見ずすることはできない。
- ・ だれにでも、死ぬとき、「生きていてよかった。」と感じ取ってもらいたい。
- ・ 周りの人からも、神様からも、自分はだいに思われているのだ、と知ってもらいたい。

死を待つ人の家

- ・ 寺の待合室を借りた
- ・ 病気の手当て、食べ物
- ・ 死をむかえるとき「ありがとう」

貧しい人のために尽くしたい。
命ある限り、だれでも大切にされなければならぬ。

テレサは、貧しい人一人一人を大切に思い、生きていてよかったと感じて欲しいと考え、「死を待つ人の家」を作った。

6 / 11 時間目 指導略案 ワークシート カバー

活動のねらい

(五の場面)

テレサが死にかかっている人々のためにしたことを読み取らせる。

1 死にかかっている貧しい人々の様子を読み取る。

死にかかっている人の様子が分かる叙述に、黄線を引く。
「やせこけた」などの言語表現に着目し、死にかかっている人の様子を想像する。

2 テレサがしたことや考えを叙述から探し、読み取る。

(発問) 手当のしようのない人たちのために、死を待つ人の家を作ったのはなぜでしょう。
テレサの言葉や心内語に、赤線を引く。

死にかかっている人でも大切にするテレサの行動と考えを、叙述を基に根拠を出しながら話し合う。

3 死を待つ人の家の様子について読み取る。

死を待つ人の家の様子が分かる叙述に線を引く。
病める人たちのために働くテレサたちに向けられた、感謝の気持ちを読み取る。

【評価】テレサの行動や言葉、心内語に表れているテレサの思いを読み取っている。

4 ブックカバーを書き、本時の学習のまとめをする。

・ 五の場面のあらすじ、心に残ったテレサの言葉や行動、自分の考えを短くまとめて書く。

色分けして叙述に線を引く。(貧しい人の様子...黄線、テレサの考え...赤線)